

2021年1月21日

放射線管理計画等作成者用研修テキストに関する お詫びと訂正

「放射線管理計画等作成者用研修テキストの7ページ下部左側写真説明の記載に誤りがありました。

誤) 左から H^* (10) 用、 $\underline{H^*}$ (0.07) 用、 $\underline{H^*}$ (3) 用
正) 左から H^* (10) 用、 $\underline{H'}$ (0.07) 用、 $\underline{H'}$ (3) 用

研修受講者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

現在は修正後のテキストが掲載されております。

【該当箇所】

ベータ線線量当量率の推定

一般に1cm線量当量率に加え、3mm線量当量率及び70 μ m線量当量率を測定できる薄膜入射窓平行平板型電離箱式サーベイメータを用います。Sr-90及びY-90による汚染が予想され、ベータ線による被ばくが想定される場合、作業場所（作業者位置）の1cm線量当量率並びに70 μ m線量当量率を測定し、70 μ m線量当量率が1cm線量当量率の10倍を超えているかどうかを確認します。10倍を超えるおそれがある場所では、皮膚の等価線量を評価し実効線量に加算するため、作業者は70 μ m線量当量を測定できる個人線量計を装着する必要があります。



ビルドアップキャップカバー3種類
左から H^* (10) 用、 H^* (0.07) 用、 H^* (3) 用



(出典：株式会社応用技研ホームページより)

H' (0.07)用、 H' (3)用